

Ikada

筏テーブル

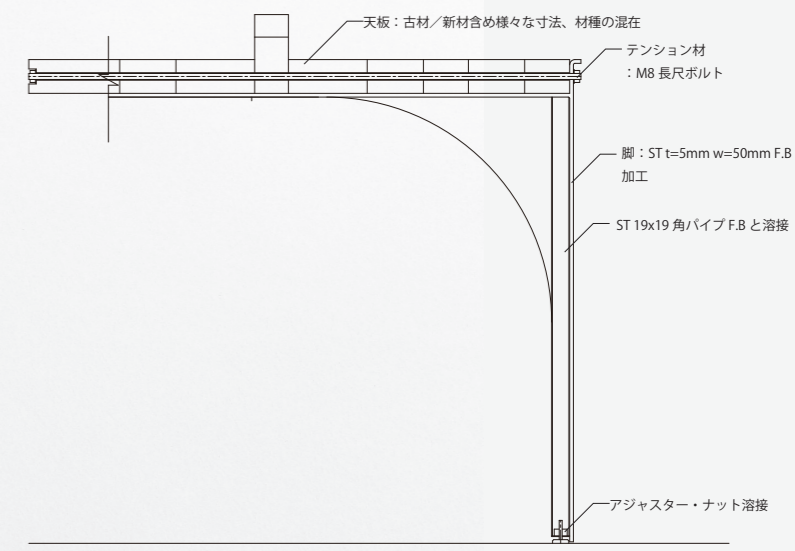
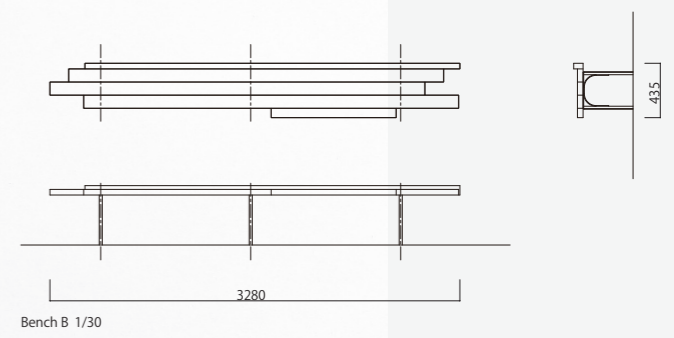
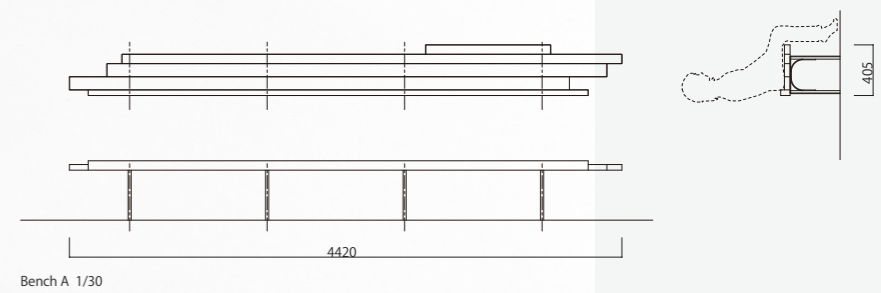
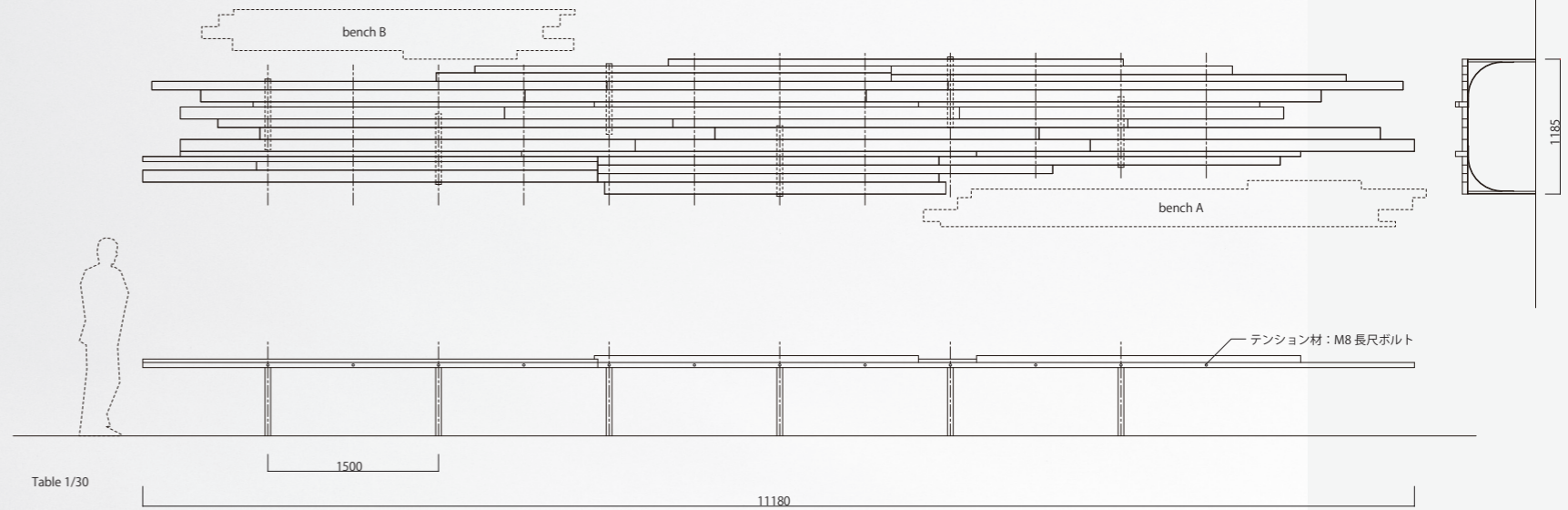
BankART1929
キング軸アートテーブル 2022

コンセプト文：
筏：材木を縛るなどして、まとめて運び、解体して部材として利用する日本古来の技術（写真：保津川筏下り）



キング軸に求められている、「テンポラリーな路上のロングレストランを構築」するために、長さ10メートルを超える長テーブルを製作する。
テンポラリーな利用であることと、搬出入や運搬のために、解体、組み立て可能な仕組みとする際、様々な材木を、筏のように束ねて一つの天板とすることを考えた。
天板に使う材木は、古材、新材含めて、様々な材種や寸法が混在したものとし、これらをM8程度の長尺ボルトで圧縮緊結する。長さは最大で4メートルとし、全てまとめて軽トラック1台で運搬可能。緊結する際、部材を縦方向に使うものも混ぜることで梁性を確保し、天板の挠みを抑え、形状を保つ。展示終了後はバラして保管、再利用することができる。

キング軸での使われ方：
高島中央公園の緑地上に配置し、テーブルとベンチを利用してピクニックなどの緑地活用を促したい。
関東学院大学日高ゼミナールで実施している出張カフェなどのイベントを開催することも検討する。



作家名：日高 仁（関東学院大学 人間共生学部 共生デザイン学科 / SLOWMEDIA）
作品タイトル：筏テーブル